

テーマ4：コミュニティの維持・充実と生涯学習の推進

自治会等の地縁団体は、福祉や防災、防犯など地域力が求められる取組を行う上で極めて重要であり、今後とも維持・充実を図る。また、自主的な活動を行う市民活動団体の育成を図ることも重要である。

さらに、このような地縁団体や市民活動団体の人材育成に向けて、生涯学習をより一層充実し、市民力や地域力の向上を図る。

現状と課題

本市では、23の地区市民センター及び楠総合支所を基本に、その地区内において、地縁団体（自治会、老人会など）が中心となって、住民相互の支え合いにより、地域福祉や防犯・防災などの各種取組を行っている。

しかし、そうした地域コミュニティも核家族化や高齢化が進み、地域コミュニティを支える機能を維持・向上させていくことが大きな課題となっている。

また、少子高齢社会を迎え、多様化かつ複雑化する地域課題に対応していくために、NPO、ボランティアといった自主的な活動を行う市民活動団体の育成も求められている。このような市民活動団体には文化やスポーツ、多文化共生など様々な分野があり、生涯学習と十分に連携を図りながら育成していくことが重要である。

生涯学習に関する市民の活動は多様であり活発である。誰もが学びたいと思ったときに学習できるような環境を整備する必要がある。

生涯学習の重要な場である図書館も、過去3ヵ年（平成18年度から20年度）に実施された市政アンケートでは、期待や要望がたくさん寄せられている。こういった市民の多様化・高度化するニーズに迅速かつ的確に対応するため、既存の図書館サービスの充実はもとより、新たなサービスの展開に積極的に取り組む必要がある。

同時に、学校図書館や他の公立図書館との連携強化を視野に入れ、本市の図書館としてふさわしいものとして機能強化を図る必要がある。

リーディングプロジェクト

（地縁団体の維持・拡充）

地縁団体を維持・拡充していくため、新たな担い手の育成や活性化のための支援策を推進する。また、市民が地域活動へ積極的に参加するよう意識の醸成などに取り組むとともに、市内在住の外国人が共に地域の構成員としてまちづくりに参画していけるよう取り組んでいく。

さらに、地区市民センターは地域社会づくりを進めるにあたり重要な拠点であり、地域活動充実のために必要な機能について検討していく。

（生涯学習機会の充実と市民活動団体の育成）

生涯学習については、若者も含め市民のニーズにあった事業を展開する必要があり、市民大学のようにNPO、市民活動団体等様々な主体が役割を担える仕組みを作っていく。また、各地区市民センターにおいては、あさけプラザ、なやプラザ等各施設で開催されている各種事業など、全市の情報を一元的に集約しながら、発信する取組を強化していく。

こういった生涯学習活動に多くの市民が参加することで、生涯学習の場に出会った市民による自主的な市民活動のきっかけづくりを行うとともに、各活動分野に対して行政の各部局が積極的に関わるなど、市民活動を活発化し、市民力や地域力の向上につなげていく。

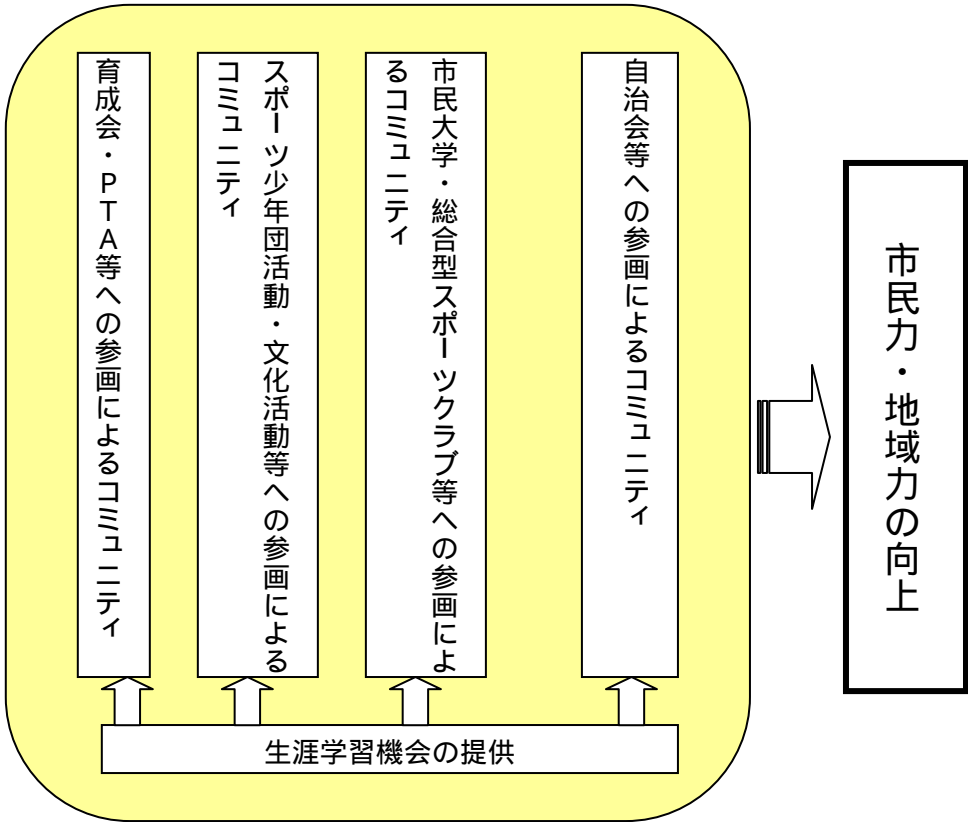
（多機能複合型の図書館づくり）

市立図書館、あさけプラザ図書館、楠公民館図書室の3館について、図書館本来の資料・情報の提供機能を充実しつつ、それぞれの図書館の特性や周辺環境にあわせて、機能強化を図る。例えば、あさけプラザ図書館や楠公民館図書室は、本で学んだことを実践できる場が施設内外にあることから（スポーツ施設、調理施設、美術室や陶芸室など）これらを活用し特徴的な図書館にしていくなど3館の役割分担を行うとともに、新たな形で市民ニーズに合わせた更なる機能向上を図り、生涯学習活動の場としてより一層充実していく。

また、高齢社会において生涯学習を促進する観点から、身近に図書の貸し出しサービスを受けることのできる自動車文庫について、その機能の充実を検討する。

なお、広域行政の観点から菰野町・朝日町・川越町等の図書館も含めた広域ネットワークを強くPRし、利用を促進する。

市民と地域とのかかわり模式図



多機能・複合型の図書館の概念図

